

(公印省略)
令和5年6月27日

川西市議会議長
西山博大様

建設常任委員長
坂口美佳

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

建設常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和5年6月20日）

1．議案第35号 市道路線の認定及び廃止について

議案の概要
<p>本案は、市道の認定及び廃止を行うに当たり、道路法第8条第2項及び第10条第3項の規定により、議会の議決を求めるもの。</p>
質疑の概要
<p>問 本案で認定及び廃止しようとする路線に関して、団地の北側の道路もある中で、市営久代団地の間の専用通路として利用されていた箇所を残す判断に至った市の検討状況を伺いたい。</p> <p>答 当該団地北側の道路は幅員が狭く、車両の往来が困難であることを考慮し、近隣住民の利便性や利用実態などを踏まえ、同団地内で最も幅員が広い当該箇所を残す判断に至ったものである。</p>
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

2．議案第43号 市営絹延団地解体工事請負契約の締結について

議案の概要
<p>本案は、市営絹延団地解体工事を実施するため、請負契約を締結するにつき、議会の議決を求めるもの。</p>
質疑の概要
<p>問 配付資料によると、当該解体工事におけるアスベスト等の除去について、問題なく施工されることが示されているが、解体工事を進めていくうえで、新たにアスベスト等の有害物質の含有が発見されるなど、今後、工事費が増額される可能性があるか伺いたい。</p> <p>答 アスベストの含有については、建設当時の図面等により原材料を調査するとともに、建物の表面など解体せずに調査できる範囲については設計段階で見込んでいる。しかし、解体工事を実施するに当たり、天井を剥がすなどの工程において、設計段階では見込めなかった箇所のアスベストの含有が発見された場合は、工事費を増額せざるを得ない可能性もあると考えている。</p> <p>問 当該解体工事請負契約に係る入札結果について、配付資料によると、落札業者の入札価格と調査基準価格との差は約5000万円となっているほか、応札した多数の業</p>

者の入札価格が調査基準価格を下回る結果となっているが、こうした結果に関する市の認識を伺いたい。

答 設計金額等については、国土交通省等の基準により算出しているものであるが、今回の入札結果については、業者にとって有利な地理的条件や過去に同様の工事の実績がある業者が落札するなど設計段階では見込めない企業努力などにより、調査基準価格と入札価格に差異が生じたものと認識している。

答 過去の例から、解体工事については、新築工事や改築工事等とは異なり、完成した建物の品質等を問うものではなく、専門の業者を確保するなどの企業努力が価格に大きく影響するといった傾向があると分析している。今回についても、調査の中で企業努力により経費が抑制されていることを確認したことから、発注を判断したものである。

問 当該団地の周辺道路は幅員が狭く、近隣にはマンションもあることから、車両や歩行者等への安全対策が重要であると考え。工事の実施に当たっては、交通誘導員を常駐させるとのことであるが、配置時間等の詳細を伺いたい。

答 工事の実施時間は午前8時半から午後5時半頃までを予定しており、同時間帯において交通誘導員を配置する予定であるが、朝の時間帯においては工事車両等の出入りがあるため、少し早い時間から配置したいと考えている。

特記事項

配付資料あり（1 入札結果について ほか）

審査結果 原案可決（全員賛成）